

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 30 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2026 年 6 月 3 日(水)			
開催時間	開会	10:00	閉会	11:20
開催場所	市役所 5 階 501 会議室			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏 O L：政金裕太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 井口大輔課長、有賀慎課長補佐 村田和也新産業技術推進係長 地域創造課まちづくり推進係 林岬汰主事、政金僚子集落支援員			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、鈴木孝之氏、細谷啓太氏、			
議事	1、6/28(日)の「対話・つながり・実現の場」について 2、日本福祉大学との連携について 3、来年度以降の官民共創の新しいまちづくり協議会について			

議事項目	概要	次のステップ
1、6/28(日)の「対話・つながり・実現の場」について		
チラシの内容について	○事務局 ー6/28(日)の「対話・つながり・実現の場」チラシ(ドラフト版)について説明ー ○WG メンバー ・開催概要に「公共空間」という言葉があるが、いなさせやアルラを連想してしまわないか。今回想定しているのは屋外の空いたスペースであるということが参加者に伝わった方がよい。 ○WG メンバー ・「公共空間」という言葉から「公共施設」を対象とした対話の場であるとミスリードしてしまう可能性はある。公園や駐車場などを連想できる表現がよい。 ・「公園や駐車場などの公共空間」という言い回しでよいのではないか。 ・小さな実験が今回の「対話・つながり・実現の場」の目標になるので、リード文中の“小さな実験”にカギ括弧を付けるとよい。 ・サブタイトルにある「まちの風景」という言葉の意味をイメージしやすいように、開催概要の文章も	

グループワークの内容について	「現実の風景にしませんか？」と変えると理解しやすいと思う。 ○WG メンバー ・グループワークタイトルの「地図に書き込もう!みんなのまちの楽しみ方」であると、参加者に内容が伝わるか心配である。「みんなのまちの楽しみ方」を具体的に示した方がよいのではないか。 ○WG メンバー ・「地図に書き込もう!」と「みんなのまちの楽しみ方」を上下に配置し、中間に左寄せで地図を置き、その右に箇条書きで具体的なアイデアを書くと示唆的になる。 ○WG メンバー ・グループワークの内容がわからないと参加してもらえないと思うので追加情報は必要だと思うが、あまり具体的に書きすぎない方がよい。 ○事務局 ・話題提供のところが、講師の方の名前と肩書きだけであるが、どんな話が聞けるのかわかりにくい気がする。 ○事務局 ・話題提供の枠の中に「市民主体のまちづくり実践例から学ぶ」と記載することとする。 ○事務局 ・チラシの真ん中にいなまち朝マルシェの案内があり、ちょっと紛らわしいと思うがいかがか。 ○WG メンバー ・いなまち朝マルシェの案内は、チラシ全体のページの網掛けから外して、一番下に配置してはどうか。 ○事務局 ・誰でも参加できることを明記したほうがよい。 ○事務局 - ー当日グループワークの際にテーブルに置く、伊那市駅から伊那北駅間の県道を中心にした航空写真に土地境界を重ねた地図サンプルについて説明ー ・土地勘があれば、地図上の建物が何かはわかる粒度 ・詳細な現場の状況を確認するため、当日は、ストリートビュー等が見られるように各テーブルにパソコンを置き補完したい。 ○WG メンバー ・ストリートビューが見られるようにするのは良いと思う。	
-----------------------	--	--

	・地図の縮尺は何分の1か？ ○事務局 ・1000分の1の縮尺でA4サイズに印刷した物をA3サイズに拡大印刷した。（だいたい707分の1だそうです。） ○WGメンバー ・前回のWGの話では、地図上の活用できそうな空間に色を塗り、そこで何をしたいか、何ができるかを対話するという内容であった。 ○WGメンバー ・グループファシリテーターのファシリテーションのやり方は事前に決めておかないと当日困る。 ○WGメンバー ・付箋でよいが、「この先に伊那小学校があります」、「この先に市立図書館があります」など、ある程度の人数がいる場所が地図上で明示できると人の流れがわかると思う。それはワークの中で付箋を貼るのではなく、事前に貼っておいた方がよい。 ○WGメンバー ・人の流れがわかるのは重要であると思う。人の流れとポイントになる駐車場や空き地がどう重なり合うか、その組み合わせでアイデアが出てくると思う。 ・例えば駐車場、空き地、路地に色を塗るとした場合、色分けをした方がよい。 ○WGメンバー ・ずっと地図に書き込むワークだと発散型になってしまう。地図に書き込むことにプラスして、「誰が、何を、どうするのか？」程度のA4サイズ1枚くらいのワークシートがあると、具体的なアクションにつながると思う。 ・やりたいことを地図に貼っていく付箋は、実現度（やる気度）で色を分けてもよいかもしれない。 ○WGメンバー ・付箋の色分け方法は賛成である。 ・前半で地図の色塗りや付箋貼りをやってグループごとの成果を全体で共有し、後半で各グループ地図上の1箇所を選んで何をやりたいか対話をしていくという流れがよいのではないか。 ○WGメンバー ・グループワークの中で色塗った土地には、実際に使える所も使えない所もあるが、その場ではわからない。使えない土地でやりたいことの対話を深めても無駄になってしまう可能性がある。事前に例えば	
--	--	--

全体の構成について	市有地等使える可能性のある土地を調べておいた方がよいのではないかな。 ○WG メンバー ・ここは民間の土地だから除外するといった制限はあまり掛けたくない。民間の土地であっても、風景等の条件からその場所にこだわりたいとなったときに、じゃあ別の場所でやりましょうと諦めるより、その場所でやるためにはどうすればよいかを考えるという可能性を消してしまうのはもったいない。 ○WG メンバー ・例えば市有地に色が塗ってあると、「そこでできることを考えてください」という意図だと受け止める参加者もいると思うので、例えば「○○駐車場」とラベルプリンターのラベルくらいで貼っておくことでよいのではないかな。 ・「やるためにどうすればよいか考える」というアプローチがまさに人を育てるアプローチであると思う。結果的に実現しなくても、やろうとしたということをつなげていくことが大切なのではないかな。 ○WG メンバー ・グループワークの流れを以下のように考えた。 1. 何かをやれそうな駐車場、空き地、路地、道路に色を塗る。 2. 次の色分けで付箋に書き込み地図に貼る。 ・やりたい→ピンク ・あったらいいな→黄色 ・ちょっと気になる→青 3. ピンクの付箋に書かれたことを中心に企画書を書いてみる！（イメージ図も描けたらなおよい） ○WG メンバー ・10月31日(土)の17とりどり祭で実証をやってみようという計画があること、日本福祉大学との連携、予算もあることを冒頭の10分間で参加者に話せるとよい。 ○事務局 ・グループワークの時間が足りないと思うが、15分延ばして1時間にしてはどうか。 ○WG メンバー ・伊那市の事例紹介では、いなまち朝マルシェの話とセントラルパークの芝生化の話をしていただけると聞いている。塩尻市の事例紹介では、いなまち朝マルシェを見て、塩尻でもやってみたいと思い、塩尻	
------------------	--	--

	大門マルシェを始め、その中で塩尻独自の課題を解決してきたと聞いている。そういった背景から、話す順番は、伊那市の事例が先、塩尻市の事例が後、という流れの方が、大門マルシェの独自性がより理解できると思う。 <今回の WG で固まったスケジュール案> 13:00 WG メンバー集合 13:30 開場、受付開始 ー全体の進行：企画政策課事務局ー 14:00～14:10 これまでの振り返り、趣旨説明 担当：WG メンバー 14:10～14:25 公共空間の使い方、プレイスメイキングとは？ 講師：WG メンバー 14:25～14:55 話題提供 1 いなまち朝マルシェ等 14:55～15:25 話題提供 2 塩尻大門マルシェ等 15:25～15:30 休憩 ーグループワークの進め方説明：WG メンバーー 15:30～16:30 グループワーク「地図に書き込もう！みんなのまちの楽しみ方」 16:30～16:45 発表・講評 16:45 終了 ー終了後、講師の方を囲んで懇親会を予定（企画政策課事務局で設定）ー <事前に準備すること> ・今回用意した地図をグループワークのグループ分 ・その地図には、人の流れがわかるように「この先に何がある」という付箋を貼り、主要な施設や駐車場をラベルプリンターのラベルで明示しておく。 ・グループワークで使う企画書ワークシート ・グループワークのテーブル分のインターネットに接続できるパソコン（ストリートビュー用） ・次回 WG で地図に色塗りするのに最適なペンを選ぶ	
2、日本福祉大学との連携について		
現状報告	○事務局 ・7月、8月に1回ずつ予定されている日本福祉大学のワークショップは、伊那市の高校生をメインターゲットとしている。日程は未定である。 ・10月31日(土)の実証の場合は、学生が製作したストリートファニチャーを設置してみたい。	
3、来年度以降の官民共創の新しいまちづくり協議会について		

	○WG メンバー ・官民共創の新しいまちづくり協議会が来年度以降どうなるか決まっているか。今年度はこのまま継続するという認識で間違いないか。 ○事務局 ・官民共創の新しいまちづくり事業の所管課である地域創造課を中心に進め方を含め調整中である。 ○WG メンバー ・今年 12 月頃にはわかるか。 ○事務局 ・予算編成の時期になるため、ある程度はわかると思う。 ○WG メンバー ・今回まちなかエリアの未来も見据えた実証実験をしておいて、もし来年度以降まちづくり事業に取り組みまないとすると、「はしごを外された」と思う市民の方もいると思う。 ・来年度以降のことも見据えてまちづくりの取組を進めていかないといけないと思う。WG メンバーも一緒に考えていきたい。	
--	---	--

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・日時 6 月 19 日(金) 18:00～
- ・会場 市役所 5 階 502 会議室（オンライン会議併用）

<次回「対話・つながり・実現の場」>

- ・日時 6 月 28 日(日)14:00～16:45
- ・会場 伊那市産業と若者が息づく拠点施設 allla（アルラ） 多目的室